

<Tokyo Rock'n SAXについて>



**Tokyo Rock'n SAXは、世界初、世界的活躍するクラシックサクソプレイヤーが率いる、ロック音楽を最上のクオリティで再現する超絶技巧演奏集団です。**

世界で活躍するクラシックサクソプレイヤーでありリーダーの松下洋は、クラシックを突き詰めた結果、ロック音楽へのアプローチに辿り着き、クラシックとロックを繋ぐバンドを結成し「ロックサクソ」というジャンルの定義付けを目指す。

日本は世界有数のクラシック大国です。その技術、エネルギーを新たな表現の仕方として昇華させ、ロックとクラシックという一見かけ離れた音楽をこの上無い超絶技巧で繋ぎ、双方の音楽に敬意を持ち、前代未聞のロックサウンドとして世界に届けます。

## <出演者プロフィール>



### リーダー：松下洋（まつした よう）

世界のサクソフォン界において、ネクストエイジを象徴すると称されるサクソフォン奏者。

『彼は私の名を冠する国際コンクールにおいて見事に勝利し、その人格の豊かさを世界に証明した。』

生れながらのアーティストであり、私はその輝かしい未来が来ることを確信している。私は自信を持って彼を薦挙します。』 - ジャン=マリー・ロンデックス

サクソフォン奏者。主にソリストとして活動し、超絶技巧のスタイル、コントロールを駆使し縦横無尽のレパートリーを組む。数多くの新曲発表・初演に関わる他、21世紀のトレンドを掴んだ企画、Cメロサックス奏者としての活動、現代奏法における新技術の開発、アレンジ楽譜の出版も行い、新境地を目指し全国各地で活動中。

数多くの客演ソリストを務めダリウス・ミクルスキ、堺武弥、伊藤康英、茂木大輔、グドゥニ・エメルソン各氏を初めとする様々な指揮者と共に、世界を舞台にプロオーケストラ・吹奏楽団と多数共演している。

横浜にて毎年催されるリサイタルではコンセプト、演奏共に賞賛を受けている。2017年春には韓国でのリサイタルを催した。外国人演奏家の招致も積極的に催し、2013年にはスペイン人サクソフォニストPEDROSAXOとコラボレーションを企画し3都市コンサートツアーを、2016年に

はアドルフ・サククス国際サクソフォンコンクールの優勝者であるニキータ・ズィミン氏を招聘し4都市コンサートツアーを行う。

朝日音楽賞を受賞した旭井翔一氏によるサクソフォン協奏曲「パガニーニ・リミックス」を山口俊一氏指揮により東洋英和女学院ウインドアンサンブルと初演。2015年5月にはフランソワ・ロセ氏の初となるサクソフォン協奏曲「Wend'Kreis」をフランスにてストラスブール交響楽団と世界初演。

タイ国立フィルハーモニーと愛知室内オーケストラ、洗足学園グリーン・タイウインドアンサンブルソリストとして共演。

シンフォニックファンファーレ東京とチャイコフスキーの「バイオリン協奏曲」サクソフォンアレンジ版を世界初演する。

福岡アクロスクラシックフェスタや羽島ポップスフェスタ、日本サクソフォンフェスティバル等、イベントにも多数ゲスト出演する。台湾で催されるサクソフォンキャンプに講師として参加。タイで催されるAPSAに講師として参加。中国南京のサクソフォン音楽祭の招聘奏者。

世界各国で催されるワールドサクソフォンコンGRESへの参加や海外でのマスタークラスやコンサートも多く行い、国際コンクールの審査員も務める。

サクソフォンのみで70's~80'sロックを完全再現するTokyo Rock'n Saxより「Permanent」「Moment」発売中。キングレコードより「Super Saxophone Duo!!松下洋xニキータ・ズィミン」を発売中。

ぱんだウインドオーケストラバリトンサクソフォン奏者。

神奈川県民による大規模サクソフォンオーケストラYSA実行委員長。株式会社D-rection取締役。

洗足学園音楽大学非常勤講師。TokyoRock'nSAXリーダー。

1987年、横浜出身。激辛党、将来の夢は小説家。

## 主な音楽歴

洗足学園音楽大学にて池上政人氏に師事し首席で卒業、同時に優秀賞受賞。東京芸術大学別科卒業後、東京芸術大学院にて須川展也氏に師事し大学院アカンサス音楽賞を得て卒業。

第1回いちのみや音楽コンクール優勝。

第4回ジャン=マリー・ロンデックス国際サクソフォンコンクール優勝。

第31回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第2位。

第6回アドルフサククス国際コンクールセミファイナリスト。

2015年度文化庁海外短期派遣制度研修員としてボルドーにて研鑽を積む。